

## ② 第2委員会

### 「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」



それでは、第2委員会の意見を発表します。

第2委員会のテーマは、「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、<sup>わたし</sup>私たちは7月23日に西部<sup>いりょう</sup>医療センターの施設見学を行いました。そこで、<sup>わたし</sup>私たちは西部医療センターを体験して、ひだまりの丘<sup>おか</sup>というお庭のようになりラックスできるスペースや、妊婦<sup>にんぶ</sup>さんの部屋<sup>しせつ</sup>、免震構造<sup>めんしんこうぞう</sup>を見ました。そして、三つに共通することは、患者<sup>かんじゃ</sup>さんが安心して笑顔だったということです。なぜなら、ひだまりの丘<sup>おか</sup>ではクッション性<sup>せい</sup>の歩道にしたり、かぶれにくい木を植えていたからです。妊婦<sup>にんぶ</sup>さんの部屋<sup>しせつ</sup>では、家族が赤ちゃん<sup>いっしょ</sup>と一緒に過ごすことができる空間があり、壁<sup>かべ</sup>の色も安心して使えるようになっていて、免震構造<sup>めんしんこうぞう</sup>では目に見えない部分にも工夫<sup>じしん</sup>をし、地震<sup>じしん</sup>が来ても建物の揺れ<sup>ゆ</sup>を小さくするようになっていて安心できます。このようなことから、病院の人たちは患者<sup>かんじゃ</sup>さんに対してとても思いやりがあるということがわかりました。

その後、<sup>ぼく</sup>僕たちは、施設見学<sup>しせつ</sup>をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、<sup>ぼく</sup>僕たちが考えたことを順番に発表します。

## ○子ども議員

私は、西部医療センターの部屋で赤ちゃんを産むことができる部屋が印象に残っています。そこは、赤ちゃんもお母さんも少しでも過ごしやすくするための工夫がたくさんされていました。これはセンターから患者さんへの思いやりだと思います。そして、生まれてきた赤ちゃんのための工夫もたくさんありました。これもセンターから患者さんへの思いやりと命を大切にすることにつながると思いました。そこで、私は、どんなに少しでもいいから、一人一人が人を思いやる気持ちを持って、困っている人を助けるなどして、自分もほかの人も大切に思ったら、「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」になると思いました。

## ○子ども議員

私が一番印象に残ったのは、免震構造です。理由は、地下のほうだけ揺れて病院は少しだけ揺れるそうです。なので、この前の東日本大震災のときみたいに巨大地震でも伝わりにくいそうです。そういう設備だと、体が不自由な人でも安全だからです。これからも、もっとこういうものがふえるといいと思いました。

## ○子ども議員

僕が西部医療センターで一番印象に残ったのは、妊婦さんが暮らす部屋です。その理由は二つあります。

一つは、妊婦さんの部屋は一人部屋で、周りの目を気にせず安心して産めるからです。

二つ目は、産むための設備です。妊婦さんの部屋はなるべく自分の家の部屋にいるように思ってもらえるように意識しているそうです。

僕が部屋を見渡すと、テレビ、冷蔵庫、洗面器などの生活に必要な

最低限のものが用意されていました。これらの理由から、妊婦さんの部屋が一番印象に残りました。

## ○子ども議員

私が西部医療センターを見学して一番印象に残ったのは、ひだまりの丘という庭のようなところです。ひだまりの丘は、患者さんの心を癒やしてくれたり、リハビリのコースがあります。私は、ひだまりの丘のようなところが名古屋市内の大きな病院のほとんどにあるといいなと思いました。そしたら、その病院に入院している患者さんも心が癒やされると思いました。

## ○子ども議員

私<sup>わたし</sup>が西部医療<sup>いりょう</sup>センターを見学して考えたことは、「いのちを大切に、思いやりのあるまちづくり」にするためには、第一に安全を考えて、大きな災害<sup>さいがい</sup>にも対応<sup>たいおう</sup>できるように余裕<sup>よゆう</sup>を持っておき、大事な命をなくさないように工夫<sup>くわふ</sup>をすること。それから、誰<sup>だれ</sup>に対しても笑顔で元気に<sup>げんきに</sup>なってもらうことをよく考えて、みんな楽しく過<sup>す</sup>ごせるように一人一人が気<sup>き</sup>をつけて人と接<sup>せつ</sup>するということが一番大切だと考えました。

## ○子ども議員

私<sup>わたし</sup>が西部医療<sup>いりょう</sup>センターを見学して最も印象に残ったことは、ひだまりの丘<sup>おか</sup>というリラックスできるスペースです。そして、ほかにもいろいろなことを体験、見学させていただきました。そして、私<sup>わたし</sup>が思ったことは、名古屋をもっと健康な人がたくさんいるまちにするには、西部医療<sup>いりょう</sup>センターのような最先端<sup>さいせんたん</sup>の医療<sup>いりょう</sup>が受けられる病院がたくさんふえたら、よりよく発達できると思います。なぜなら、西部医療<sup>いりょう</sup>センターはとても清潔<sup>せいけつ</sup>で、たくさん<sup>かんじゃ</sup>の患者さんが入院できるからです。そして、もう1点、周産期<sup>いりょう</sup>医療<sup>いりょう</sup>センターがとても充実<sup>じゅうじつ</sup>していて、赤ちゃんを部屋で産んだらそのまま一<sup>いっしょ</sup>緒<sup>す</sup>に過<sup>す</sup>ごせる部屋があったのがすごいと思いました。赤ちゃんを産んだ後、きちんと予防<sup>よぼう</sup>することができ、将来<sup>しょうらい</sup>健康な大人がふえ、ますます健康な名古屋に一步步近づいていくのではないのでしょうか。

## ○子ども議員

私は、西部医療センターへ施設見学をし、そこにはひだまりの丘という自然庭園がありました。自然は人を癒やし、心も優しくなります。そこで、自然を大切にし、ごみ拾いデーなどをつくり、行えばよいと考えました。そして、このような自然庭園をいろいろな施設に取り入れ、名古屋が自然いっぱいの思いやりのあるまちにしていけたらいいと思いました。また、西部医療センターは診療科目が多く、より患者さんの命が救えるので、ほかの病院にも技術を伝え、世界中の人たちの命が助けられればいいと思いました。

## ○子ども議員

私は、名古屋を命を大切に、思いやりのあるまちにするには、安全で、過ごすのが大変ではない病院をつくるのがいいと思いました。例えば、松葉づえを使っている人たちや赤ちゃんがおなかの中にいる人たち、そして車椅子を使っている人たちなどが急な階段を上ったりおりたりすると、とても時間がかかるし、体にも悪いと思います。けれど、そういう階段はスロープにかえたりするといいと思います。そうやって、過ごすのが大変ではない病院にすれば命を大切にできると思いました。

## ○子ども議員

私は、名古屋に、命を大切にしていりやりのある人は、このまちには余りいないと思っていました。なぜなら、愛知県、名古屋も含めて、交通事故ワースト1位だからです。それは、一人一人がほかの人の命を大切にしていらないからだと思います。でも、その人たちに思いやりをあげられる人ならいっばいいます。それをこの見学で知りました。理由は、患者さん、病院の先生、看護師さん、患者さんの家族・親戚などの方は、みんな笑顔で思いやりやぬくもりがありました。こういう人たちがいっばいふえれば、命を大切にすることもふえると思いました。

## ○子ども議員

私は、西部医療センターを見学して、名古屋市民でよかったと思いました。緊急患者を受け入れるヘリポートや、がん治療の陽子線治療装置で高精度な治療が受けられるので幸せだと思いました。私や私の家族がもしがんになったら治療を受けたいと思いましたが、予約をしてから治療をするまでにどのくらい時間がかかるのか、どのくらい費用がかかるのかが気になりました。赤ちゃんからお年寄りまで、所得の高い人も低い人も、陽子線治療を希望する人全てが利用できる環境が整っているといいなと思いました。

## ○子ども議員

私<sup>わたし</sup>が一番印象に残ったのは、ひだまりの丘<sup>おか</sup>には工夫があることです。西部医療センター<sup>いりょう</sup>には、体への負担<sup>ふたん</sup>が少ない放射線がん治療<sup>ほうしゃせん ちりょう</sup>の装置<sup>そうち</sup>がありました。ほかにも、ひだまりの丘<sup>おか</sup>という空間があり、そこは緑が多く、魚もいました。また、地面<sup>ぢめん</sup>が柔らか<sup>やわ</sup>かくなっていて、歩いても疲れにくくなっていて、癒<sup>い</sup>やされながらリハビリができる工夫<sup>くわふ</sup>がされていました。このような病院<sup>びやういん</sup>や施設<sup>しせつ</sup>が身近に広がるといいと思いました。

## ○子ども議員

見学をした西部医療センター<sup>いりょう</sup>のひだまりの丘<sup>おか</sup>には、植物や動物があふれている。病気でふだん外に出られない人も、ここに来るだけで心がほっとすると思う。また、好奇心<sup>こうきしん</sup>いっぱいの子どもは魚などを見るだけで楽しむことができる。地面<sup>ぢめん</sup>の柔らか<sup>やわ</sup>かさといった患者<sup>かんじゃ</sup>さんに対する優しい思い<sup>やさ</sup>が生きる希望につながるのだと思う。だから、名古屋市すべての病院<sup>びやういん</sup>にひだまりの丘<sup>おか</sup>のようなところをつくるべきだと思う。僕は、将来、建築家<sup>けんちく</sup>になろうと思っているので、ひだまりの丘<sup>おか</sup>を見て、命<sup>いのち</sup>を大切に、思いやりのある施設<sup>しせつ</sup>をつくりたいと思った。

## ○子ども議員

私は、ひだまりの丘というお庭のようなリラックスできるスペースが一番印象に残りました。なぜなら、リハビリをしている患者さんがそのままひだまりの丘に出てリラックスできるからです。また、植えてある木も、患者さんのことを考えて、かぶれにくい木を選んでいました。患者さんに対してとても思いやりを感じました。病気の回復には、治療だけでなく、リラックスすることが大切だと思います。「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするために、市民がリラックスできる憩いの場をつくることを大切だと思います。

僕たち第2委員会は、このようなことが名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするために必要だと考えました。

これで、第2委員会の発表を終わります。

## ■ 丹羽財政福祉委員長の答弁

第2委員会の皆さん、本当に立派な発表していただきましてありがとうございました。今回皆さんと3日間おつき合いさせていただきまして、本当に私たち副委員長ともども勉強になったと思います。「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」というテーマで今発表していただきまし





た。西部医療センターを初日に見学させていただき、その場で委員長、副委員長を決めるという中で、初めはジャンケンで決めましょうということになっていました。しかしながら、皆さんがジャンケンは嫌だということ活発な意見が出て、そこも投票にしたという、本当に大変活発な人たちの集まりだったかなというふうに思います。それで、西部医療センターの設計思想というのか、ちょっと難しい話になるのですが、どういうコンセプトでつくられたかというようなところをしっかりと皆さんは、今の発表の中で見抜いていただいています。皆さんがきょう発表された提案は、私が事前に病院の院長に送らせていただきました。本当に患者さんが不安がっている、病気で元気がない、そういったときに、看護師さんがにこにこ笑顔で対応している、またひだまりの丘でゆとりがある、そういったところを皆さんはしっかりと今回見っていました。そして、これからの市が運営する公立病院の運営の基本になるようなことを皆さんは、学ばれたというふうに私は感じております。今回の子ども市会を通じて、子ども委員長と子ども副委員長、しっかりと二つのグループをまとめて、今発表したテーマについて、いろんな議論をされました。この意見を入れてほしい、絶対この意見は抜いたら困るというようなことを言われました。各小学校ばらばらに来られたにもかかわらずしっかりと、委員長、副委員長が意見をまとめていい発表をされたと思います。陸前高田市の小学生も今お見えですけど、皆さんとまたこういう交流を深めて、しっかりと、この名古屋市、命を大切にというテーマで皆さんもいい名古屋市になるように御協力いただきたいと思っております。私からは以上です。どうもお疲れさまでした。